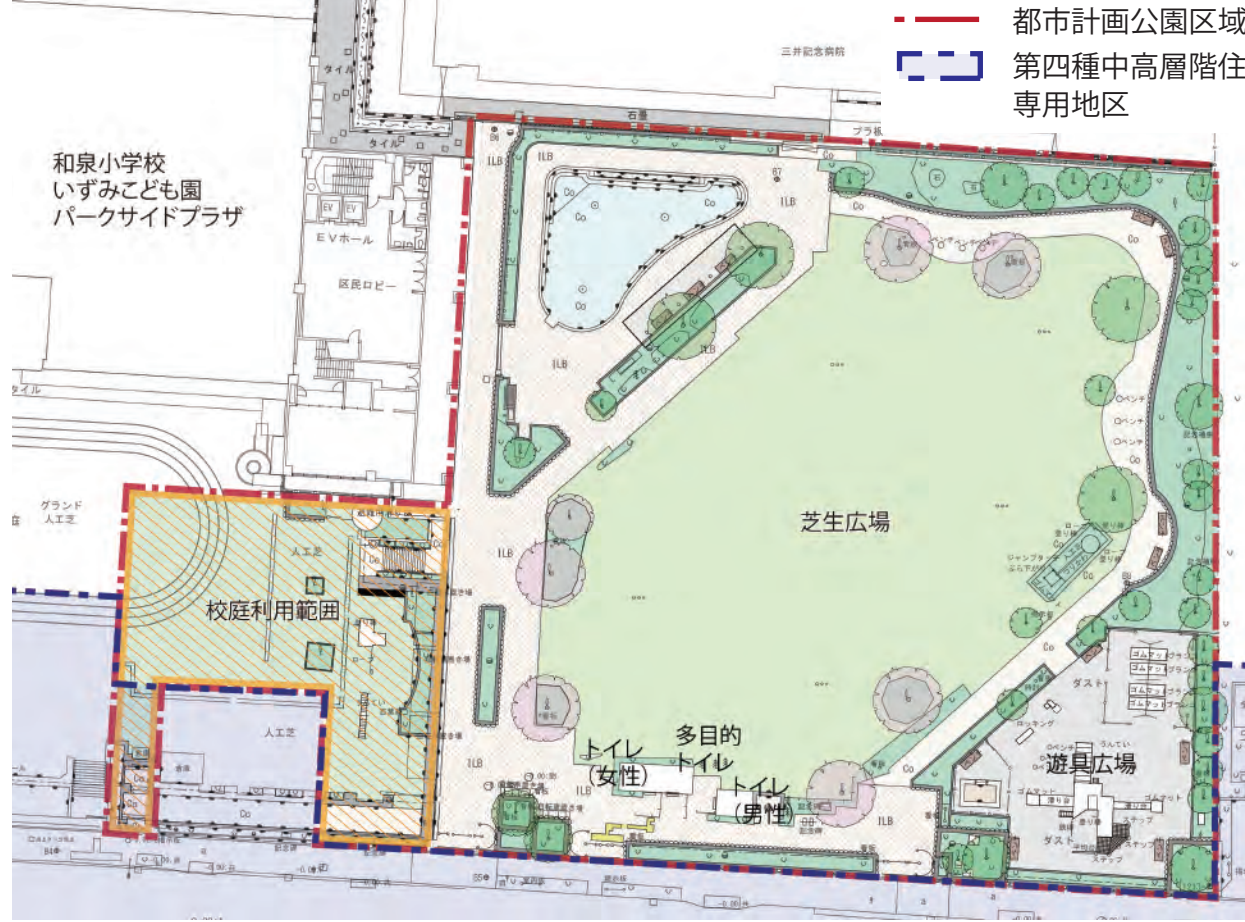


1 移転建替え・施設の現況

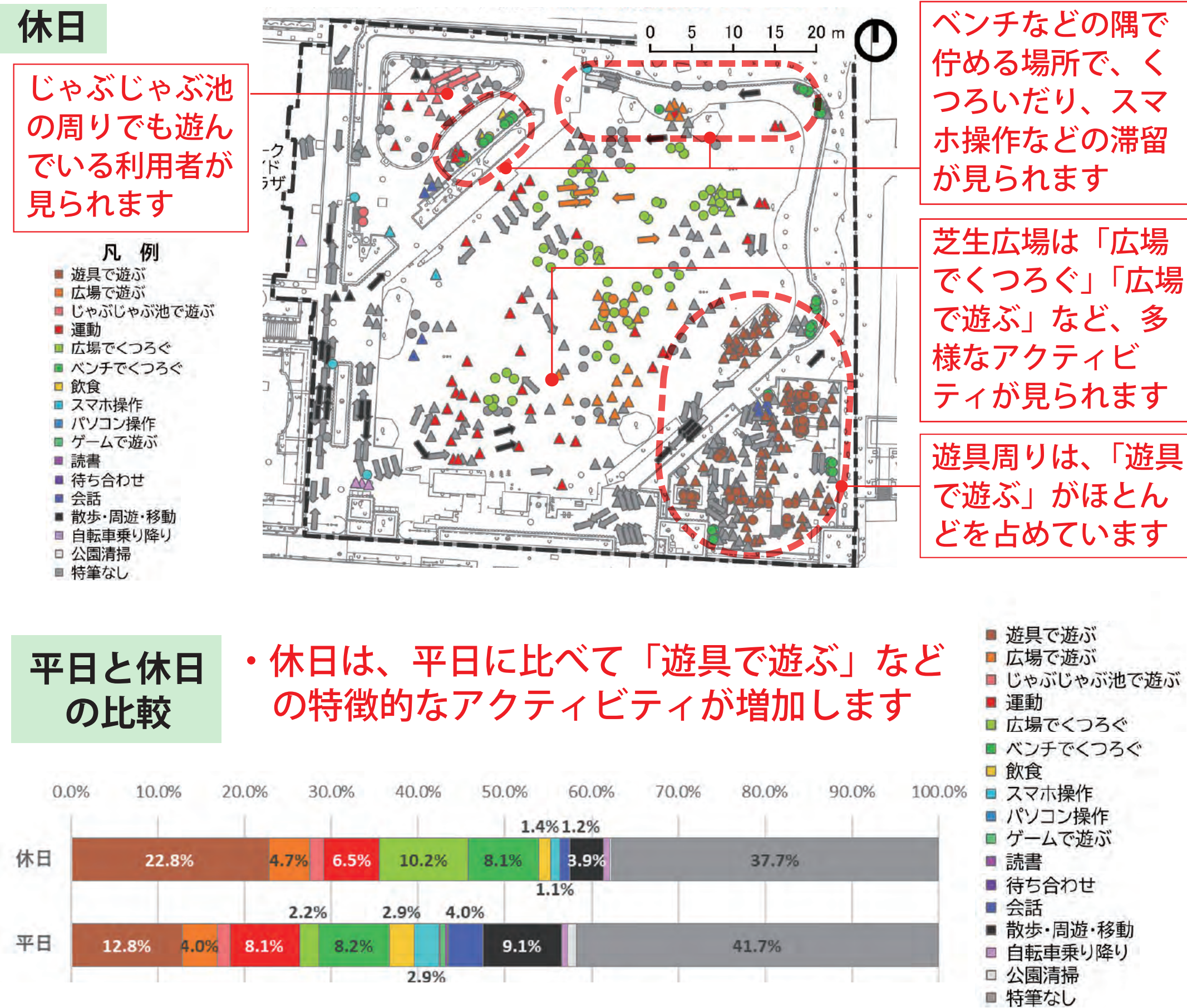
- 竣工から38年が経過し、老朽化等の課題がある和泉小学校・いずみこども園等施設（ちよだパークサイドプラザ）については、小学校・こども園の機能を継続する観点等から、隣接する区立和泉公園敷地への移転建替えに向けて取り組んでいます。
- 公園の利用状況調査では、休日・平日共に様々なアクティビティが見られます。また、休日・平日共に秋葉原側入口からの流入が最多で、パークサイドプラザや北側道路、三井記念病院への南北の移動が多い傾向です。
- 風環境は、現状の建物・公園の配置では南・南西からの風の吹き下ろしにより、公園内に強風エリアが発生しています。

■各施設の現況

	ちよだパークサイドプラザ（和泉小学校・いずみこども園等）	和泉公園（都市計画公園、街区公園）																								
所在	神田和泉町 1 番地	神田和泉町 1 番地 300																								
地域地区等	商業地域、容積率 500%（南側一部 600%）、建ぺい率 80%、	第四種中高層階住居専用地区（南側一部）、防火地域、日影規制なし																								
敷地面積等	3,963.06 m ² うち校庭面積 小学校：約 1,207 m ² ／こども園：218 m ²	4,607.71 m ² 但し、南西部は学校の校庭として利用されているため、実際に公園として利用できる範囲は約 4,000 m ²																								
施設等	 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 8 階・地下 1 階 延床面積：11,454.9 m² 昭和 62 年竣工 現在の和泉小学校等施設の構成 <table><tr><td>7 階</td><td>多目的ホール</td><td>ちよだパークサイドプラザ</td></tr><tr><td>6 階</td><td></td><td>いずみこどもプラザ</td></tr><tr><td>5 階</td><td>和泉小学校</td><td>子育てひろば 区民図書館</td></tr><tr><td>4 階</td><td>和泉小学校</td><td></td></tr><tr><td>3 階</td><td>和泉小学校</td><td></td></tr><tr><td>2 階</td><td>和泉小学校</td><td>いずみこども園</td></tr><tr><td>1 階</td><td>いずみこども園</td><td>パークサイドプラザ受付</td></tr><tr><td>地下 1 階</td><td>機械室・防災備蓄倉庫</td><td>プール</td></tr></table>	7 階	多目的ホール	ちよだパークサイドプラザ	6 階		いずみこどもプラザ	5 階	和泉小学校	子育てひろば 区民図書館	4 階	和泉小学校		3 階	和泉小学校		2 階	和泉小学校	いずみこども園	1 階	いずみこども園	パークサイドプラザ受付	地下 1 階	機械室・防災備蓄倉庫	プール	 ・健康器具 ・スプリング遊具 ・ブランコ ・砂場 ・鉄棒 ・滑り台等を兼ねた複合遊具 ・トイレ ・レンタサイクルポート 
7 階	多目的ホール	ちよだパークサイドプラザ																								
6 階		いずみこどもプラザ																								
5 階	和泉小学校	子育てひろば 区民図書館																								
4 階	和泉小学校																									
3 階	和泉小学校																									
2 階	和泉小学校	いずみこども園																								
1 階	いずみこども園	パークサイドプラザ受付																								
地下 1 階	機械室・防災備蓄倉庫	プール																								

■公園利用状況調査

アクティビティマッピング調査 滞留行動や活動のポテンシャルを分析



利用者動線調査 歩行者動線から公園のレイアウト等の特性を分析



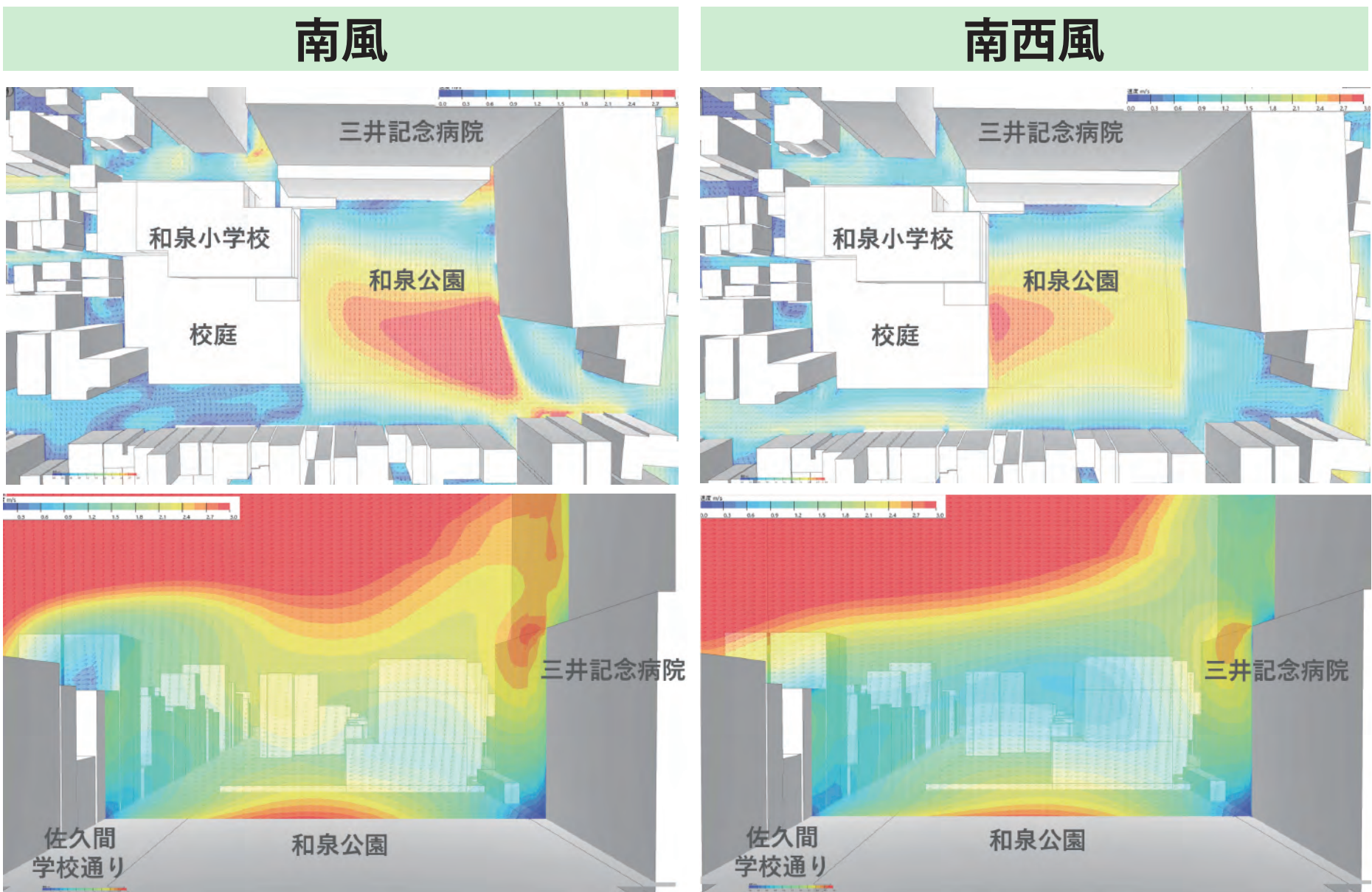
■風環境シミュレーション

- 敷地内および周辺の建物の 3 D モデルを用いたシミュレーションの結果、現状の建物および公園の配置では、南～南西からの風が北側に位置する三井記念病院の壁面にあたり、その吹きおろしにより、公園内に強風が発生するエリアが生じています。

公園の風環境（地域の方々からの声）

- 風があるときにビル風が強くなり、ほこりや土が舞い上がり痛いくらいになる。風が強い時には子どもを連れて行きにくい。
- 強風で納涼会のテントが建てられなかった。
- 少しでも風が弱くなると施設配置だと良い。

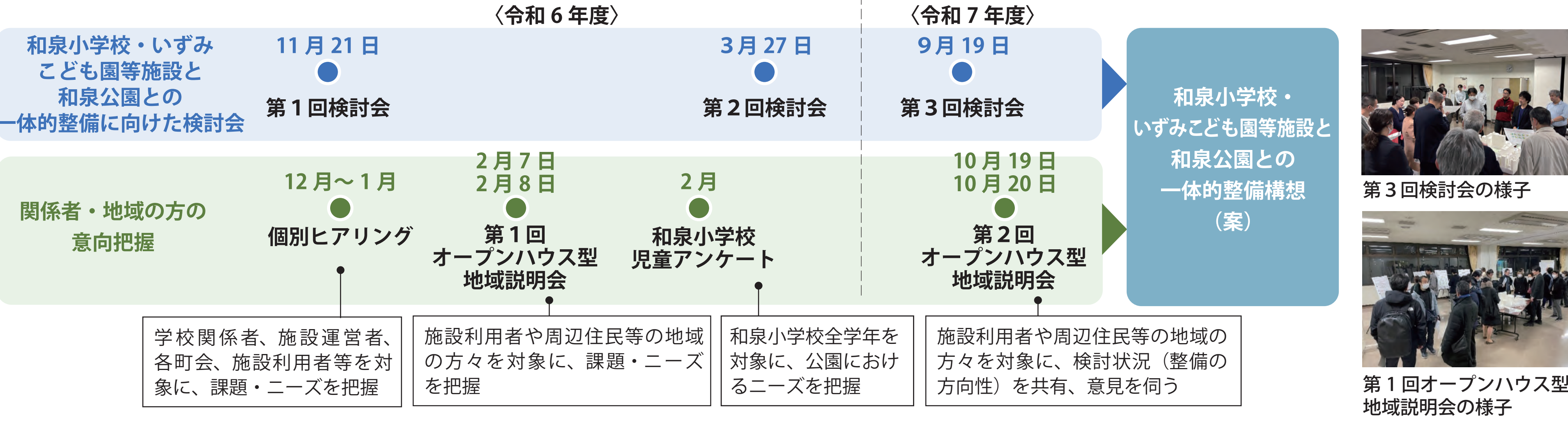
既存配置による風環境シミュレーション：
敷地を上空から見た図に地表面 + 1 m の高さに吹く風の強さを色で表示（※ 青色→赤色で、弱風→強風を示しています）



2 関係者および地域の方からのご意見

- ・ヒアリングやアンケート、検討会（学校や園などの施設関係者、地域関係者、隣接関係者等で構成）、オープンハウス型地域説明会等を通じて、関係者及び地域の方と意見交換しながら検討を進めています。
- ・学校等施設と公園敷地の入れ替え、一体的整備については、概ね賛同が得られていますが、多様な利用者がいることから、運用の工夫やセキュリティの確保が強く望まれています。
- ・各施設の機能向上に加え、周辺建物への配慮や動線等の空間的つながり、工事期間中の配慮などが求められています。

■関係者及び地域の方の意向把握の概要



■意見のまとめ

学校等施設と公園敷地の入れ替えについて

児童・園児の負担が少なく、全体機能が向上するのであれば進めた方がよい

- ・仮施設を設けずに学校等が整備でき、児童・園児の負担が少ないので進めた方がよい。
- ・公園も含めた全体の機能が向上するのであれば、進めてもよい。

学校等施設と公園の一体的整備について

イベント時などに広く使えるとよい。運用の工夫やセキュリティの確保は必要

- ・イベント時など広く使えるとよい。
- ・現状の利用状況を踏まえた運用やセキュリティの確保には十分配慮する必要がある。

周辺施設も含めた利便性、セキュリティ、風環境を考慮した配置・形態としてほしい

- ・隣接する病院への配慮（入院棟からの見え方、騒音、佐久間学校通りから病院への動線の確保等）。
- ・風が少しでも軽減される配置・形態が望ましい。
- ・学校等施設のセキュリティを考慮（校庭と公園のレベル差を設ける、仕切り方の工夫など）。
- ・小学校、こども園、区民施設、それぞれの動線は安全性、利便性の観点から検討が必要。

学校等施設について

子どもに開かれる機能を核に、地域の多世代交流、防災の拠点としての機能を確保したい

- ・小学生と園児が日常的に顔を合わせる環境、子どもに開かれた施設・機能が集約した環境は維持したい。
- ・世代間交流が深まるような多世代交流の場となるとよい。
- ・地区の防災拠点として、災害時の利用や対策も十分に検討が必要。

児童数の増加など将来的な利用も踏まえたスペースを確保したい

- ・児童、園児の増加、必要な職員数に対応できる施設計画としたい。
- ・将来的に児童数が減少した際も多目的に使えるような利用を想定してほしい。

校庭は、現状の利用が継続でき、より機能向上できる規模を確保

- ・平日の日中・放課後、休日の利用は継続できるような形状や運用としてほしい。
- ・直線で50mトラックが確保できない状況は望ましくない。

施設の機能配置等に関するその他意見

- ・児童、園児の上下移動の負担をできる限り軽減したい。
- ・人工地盤下の空間は採光が確保できる工夫をしてほしい。
- ・人工地盤下は公園に近いこともあり、公園に関する倉庫や区民図書室等の公園利用者と相性の機能があるとよい。
- ・施設利用者の自転車置き場（屋根付きが望ましい）は必要。

公園について

多様な利用状況やニーズを踏まえた機能が検討できるとよい

- ・多様な人に利用されており、すべての人が使いやすいものになると良い。
- ・遊具やじゃぶじゃぶ池、トイレなどの既存機能は、動線など安全性に配慮しつつ継続してあるとよい。特にじゃぶじゃぶ池は新公園にも整備してほしい。
- ・ボール遊びはできるとよいが、病院利用者など安全性への配慮は十分に必要。
- ・小学校児童からは身体を動かして遊ぶ活動に対するニーズが高い。
- ・整備後も南北の通り抜け動線を確保してほしい。

風環境の改善や暑さ対策が必要

- ・風環境が改善されるとよい。暑さへの対策は検討してほしい。

災害時の公園利用も想定した設備や計画としたい

- ・災害時の緊急医療救護所、トリアージ空間としての利用を想定し、災害対策用井戸、防災備蓄倉庫、屋根付きスペースを設ける等を検討してほしい。

桜や緑等の自然環境の維持

- ・公園内の樹木の移植を検討できないか。
- ・人工地盤案でも、公園部分については自然感が必要である。
- ・新たな公園の中にも、桜を植えてほしい。砂場、子ども用遊具も必要だろう。

旧和泉町ポンプ所跡地について

子どもや地域住民の利用空間の多機能化に資する活用ができるとよい

- ・子どもや地域住民の利用空間の多機能化として、コワーキングスペースや音のなる活動や練習など、屋内活動の充実に資する機能を導入することもあるのではないか。

導入機能は、学校等施設や公園との連携や住み分けを意識した検討が必要

- ・地域で利用する多世代交流や図書館などの機能は、学校等施設や公園の近くにあることが望ましい。
- ・旧ポンプ所跡地は区境付近であり、地域利用にはやや不便。特定のニーズやターゲットに対応した機能が良いのではないか。

工事期間中は、代替公園としての活用も検討してほしい

- ・子どもたちが遊べる場になれば、周辺の保育園にとっても良いのでは。

工事期間中の配慮について

公園の代替措置（じゃぶじゃぶ池等）や登下校時の安全性の確保

- ・公園閉鎖期間の遊び場や地域行事の場としての公園機能の代替措置を検討してほしい。
- ・特にじゃぶじゃぶ池は利用率も高く、小さい子どもがいると重要である。
- ・佐久間学校通り～病院へのアプローチは、工事期間中も確保してほしい。
- ・登下校（特に下校時）の安全策を検討してほしい。

3 現況の課題

- 各施設の現況調査、関係者及び地域の方からのご意見を踏まえ、現在の小学校等施設と公園の整備課題を整理しました。
- 小学校等施設は、建物の老朽化や利便性の不足のほか、小学校・こども園・地域利用施設が混在することによる専用スペースの不足や動線の混在、将来的な就学前人口の増加や ICT 教育等の新たな教育需要への対応などが課題となっています。
- 公園は、平日・休日ともに多様な使われ方・ニーズがあることに対応した遊び場やファニチャー類の不足、隣接する小学校校庭や沿道とのつながりの欠如等のほか、都市計画公園として有効に利用できる面積の確保が課題となっています。

■和泉小学校等施設の整備課題

建物の老朽化

- 設備の経年劣化による故障が頻発しています。



老朽化が進む設備機器

施設の利便性の不足

- バリアフリーへの対応が不十分となっています。
- こども園へのアプローチ動線が脆弱です。来園者が集中すると混雑が発生します。



こども園につながる階段

小学校の校庭・こども園の園庭スペースの不足

- 学校敷地面積が限られるため、一部公園敷地（約 600 m²）内に跨って校庭を設けています。



一部公園内に設けられた校庭

教育施設と地域利用部分の動線混在

- 学校・こども園部分と地域利用部分の動線が混在しており、防犯管理上からも課題があります。



教育施設と地域利用の共通の出入口

児童数への対応

- 学区域内での就学前人口が増加傾向にあり、教室数が不足する見込みとなっています。



和泉小学校の普通教室

新たな教育需要に対応しきれない施設規模

- 施設や教室の面積が限られているため、ICT 教育への対応や多様な学びの環境づくりが困難となっています。



パークサイドプラザの外観

■和泉公園の整備課題

時代・環境の変化にあった遊び場等の不足

- 猛暑の際に、日陰の下で遊べる場所が不足しています。
- インクルーシブ遊具がなく、幅広い利用者を受け入れる遊びの環境整備が不十分です。



遊具広場

滞留・活動を促すファニチャー類の不足

- 公園の利用者数に対してベンチ等の滞留可能な設えが不足しています。



園路沿いに配置されているベンチ

校庭との物理的分断

- 校庭との高低差により、壁面が立ち上がっており、空間の物理的分断がみられます。



校庭との境界部にある壁面

沿道との空間的・視覚的なつながりの欠如

- 佐久間学校通りに沿って並ぶトイレや低木などが、視線や人の往来を妨げており、沿道との一体的な関係が築けていません。



佐久間学校通りに面するトイレ

先駆的活用の更なる推進

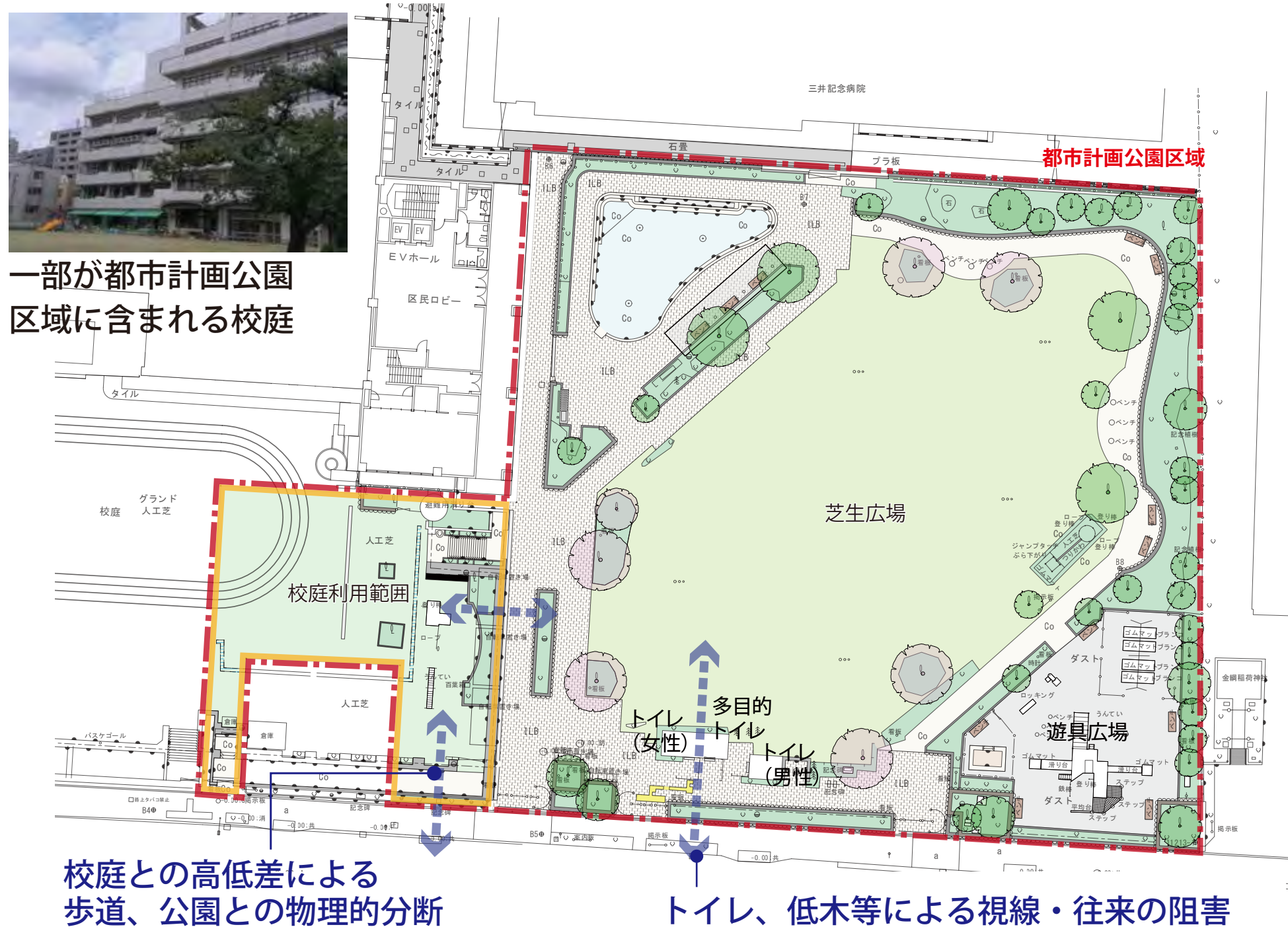
- 子どもの遊び場事業で、ボール遊びは定期的に行われていますが、住民のやりたいを実現できる環境整備の更なる推進が必要です。



子どもの遊び場事業でボール遊び

公園利用できない用地の存在

- 都市計画公園として位置付けられている面積は 4,600 m²ですが、その一部（約 600 m²）は学校が校庭を設けており、公園として利用できていません。
- 施設・公園の再整備にあたっては、公園敷地内を公園側で有効に利用できるようにする必要があります。



一部が都市計画公園区域に含まれる校庭

校庭との高低差による歩道、公園との物理的分断

トイレ、低木等による視線・往来の阻害